

年 組 番 名前 ()

■新潟県の津波災害史

西暦	和暦	地震・震源域	概要
1741.8.29	寛保元.7.19	北海道 おしまおしま 渡島大島	渡島大島(火山島)が噴火し、それに伴う山体崩壊により津波が発生。日本海沿岸に津波災害を及ぼした。北海道渡島沿岸・津軽で、2千人以上の溺死者が出たと言われている。佐渡にも津波被害の記録。
1762.10.31	宝暦 12.9.15	新潟県 さどひめさきおき 佐渡姫崎沖	佐渡付近を震源とする地震(M7推定)。津波により26件の家屋流失の記録。
1802.12.9	享和 2.11.15	新潟県 さどおぎおき 佐渡小木沖	地震(M6.5~7)と津波により小木が壊滅。死者19人。
1833.12.7	天保 4.10.26	山形県 しょうないおき 庄内沖	庄内沖を震源とする地震(M7.6推定)。佐渡にも津波被害。津波により庄内で38人、能登輪島で47人溺死。
1964.6.16	昭和 39.6.16	新潟地震 あわしまおき 粟島沖	粟島沖を震源とする地震(M7.5)。地震の約15分後位から津波が日本海沿岸各地を襲い、村上市(旧山北町大島崎)では波高5mを観測。新潟市の信濃川沿いなどの低地帯で浸水したほか、島根県隠岐島でも水田が冠水。人的被害は死者26人、住家被害は全壊1,960棟、全焼868棟。

■日本海側の津波災害

西暦	和暦	地震・震源域	概要
1983.5.26	昭和 58.5.26	日本海 中部地震	秋田県能代沖を震源とする地震(M7.7)。津波の第1波は、7分後に深浦(青森県)に到達。北海道から島根までの日本海側各地で津波を観測。特に北海道、青森、秋田の被害が大きく、津波により100人が死亡、男鹿半島では遠足の小学生13人が犠牲になった。
1993.7.12	平成 5.7.12	北海道 南西沖地震	北海道奥尻島沖を震源とする地震(M7.8)。震源に近い奥尻島を中心に火災や津波で大きな被害。津波の第1波は4分後に奥尻島に到達、奥尻島では198人が津波により死亡又は行方不明となったほか、北海道本島でも死者・行方不明あり。津波は朝鮮・ロシア沿海州にまで達し、ナホトカでは3人の死者が出た。

★今日の学習を通して、わかったことや考えたことを記入しましょう。

.....

.....

.....